

令和2年度 事業報告

1 事業の概要

新年度早々、新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が発令されました。これにより様々なせ生活の場面において制限がかかり、私たちシルバー事業も大きく影響を受けることになりました。予定されていた多くの事業の中止を余儀なくされ、年に一度の定期総会も例年通りでの開催は行えず、やむを得ず規模を縮小した形態での開催となりました。これは、もちろん就業面においても大きな打撃を与えました。就業終了や時間の短縮及び人数の制限等、就業を期待していた会員の皆さんにはご不自由をおかけすることになり、事業を運営していくうえで厳しい1年の始まりとなりました。

深刻なマスク不足が続く中、全国に先んじて、市から小中学校と福祉施設向けに手作りマスクの作成依頼を受け、材料不足が続く中ではありましたが「困っているなら何とかしよう」と、すみれサークルの有志が定められた納入期限に対応するために創意工夫を加えた結果、期日内に収めることができました。これらの様子は、各種新聞にも掲載され多くの人目に届くことになりました。また、受け取った子供たちからもお礼のお手紙をもらう等、閉鎖された日常の中で明るい兆しのいちるでありました。

これを発端に、厳しい状況下においてもシルバーパワーを発信する会員の皆さんの活動のおかげを持って、新型コロナウイルス対策を目的とした市内小中学校の消毒作業にも迅速に対応し、多くの会員に就業機会の提供ができました。併せて、受付業務等の新たな分野での就業も発生し、希望者に就業提供を行うことができました。

併せて、令和3年度からの広報紙全戸配布業務については、先進地センターに視察研修を行い山武市での配布方法につき内部調整や担当部署との協議を行い、令和3年度4月号の発行へと準備することができました。これは、全戸配布を行っていただける100名以上の会員の皆様の就業により初めて達成されるべきものであり、会員の皆様の全戸配布業務就業へのご協力に対し感謝を申し上げます。

また、派遣就業についても、従前は請負で行っていた就業を、適正就業の観点から発注先を役職員で度々訪問し説明を重ねたうえで、請負から派遣へと切り替えることができました。コンプライアンスを重視し、会員の皆さんが安心して作業を行なえるよう推進しました。

安全面では、残念ながら事故ゼロとは叶いませんでしたが、初心者向けの草刈講習会や、きらきらシルバーフェア開催時に安全コーナーを設置し、来場者に安全委員会の活動内容や安全に対する心構え等を伝えることができました。

フレイル対策として、本来であれば多岐にわたり会員の皆さんに活躍する場を提供できるよう活動を予定していましたが、感染症対策の観点から実施できなかったことが残念ではありました。しかし、限定された中であっても様々な分野で会員の皆さんにご活躍をいただき、「まちの便利屋さん」としてのPRを広く市民の皆さんに発信することができました。

このように令和2年度は、様々な場面において制限を強いられた厳しい状況ではありましたが、組織内部の充実と関係機関との連携強化に努め、何より会員の皆様方のご協力により、コロナ禍であっても活発な事業展開を実施することができました。

そこで、この1年の事業実績を次のとおり報告します。

会 員 数 正 会 員 4 3 5 人

(男性 2 8 8 人・女性 1 4 7 人)

特別会員 1 人

賛助会員 2 団体・8 人

事 業 実 績

	受託事業	派遣事業
受注件数	3, 0 1 5 件	2 0 件
契約金額	2 億 0, 1 6 2 万円	1, 5 1 2 万円
就業延人日	3 5, 7 7 7 人日	2, 2 6 3 人日
就業実人員	4 2 5 人	2 3 人
就業率	9 7. 7 %	
事故報告	傷害事故 1 件 物損事故 5 件	

2 事業の報告

(1) 100万人計画に沿った会員増加活動

会員による友人等の口コミ勧誘活動や、就業開拓員による各種事業所へのチラシの設置やポスター貼付により、シルバー事業が多くの市民の目に留まり、新規入会者の獲得につなげることができました。

広報紙を全戸配布するにあたり、市内の居住世帯を対象に、新規会員募集のチラシをテストケースとして全戸配布を実施したことが、非常に効果がありました。このことから、入会説明会への参加者は過去最多の年間155人となり、多くの入会者の獲得へとつなげることができました。

また、退会抑制効果としてプラチナ会員への登録者も前年より増えエイジレスなシルバーライフの実践に効果が見られました。

【会員状況報告】

	成東	山武	松尾	蓮沼
入会	34	34	22	8
退会	33	18	10	4
会員数	176	151	80	28

【入会説明会参加者報告】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
参加者	9人	2人	3人	2人	6人	8人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	3人	10人	8人	33人	21人	50人

【プラチナ会員】

18人（男性9人 女性9人）

(2) 安全就業

安全に就業を行うための一つの目安として、運転業務の年齢制限を78歳と定めた適用となる初年度でありました。対象職種となる就業者には、

交通安全講習会を、山武署の警察官を講師として、高齢者の交通事故例等について安全講和をお願いし、反射力テストを機械を使用して行いました。自分と周囲との結果の状況を確認することで、日頃の交通安全に役立ててもらえるよう開催しました。

安全講習会では、初めて草刈班と植木班の合同で安全講習会を開催し、双方の安全対策につき確認することができました。また、草刈初心者に対しては、各地区で熟練者による技能講習会を開催し指導を実施しました。

健康関連講習会として、役職員に対し、認知症サポーター研修を行い認知症に関する知見を広げ、今後の業務に役立てるよう開催しました。

適正就業の推進として、抵触するおそれのある発注者に対し、丁寧な説明を幾度となく実施したことから発注者の理解を得て、請負から派遣業務に切り替えることができました。

安全委員会も他の事業と同じく委員会活動は自粛となりましたが、紙面でお届けする「安全だより」は定期的に発行し、安全についての意識を高めてもらえるよう情報発信を行いました。

山武市の「転倒骨折予防プロジェクト」に基づき、女性部会主催の「すみれの輪」で腰痛対処法につき筑波大学の陣内裕成先生を講師として開催しました。

【安全関連講習会等】

初心者向け実技草刈講習会：3地区で開催
植木草刈合同講習会の開催
不法投棄パトロール交通安全講習会の開催
健康関連役職員講習会の開催
すみれの輪 腰痛対処法

【安全だより】

9月、1月に発行

【事故報告】

	傷害事故	物損事故
事故件数	1件	5件

【職群班活動】

植木班（2地区6班）、草刈（3地区6班）、軽作業13班

班員のとりまとめ及び安全管理、発注者・事務局との連絡調整等

【派遣就業報告】

就業内容	受注件数	就業実人数
運転業務（人・物運搬）	9件	11人
草刈・植木・運転業務	6件	3人
工場内作業	3件	7人
厨房手伝い	1件	1人
コース管理	1件	2人

（3）フレイル対策

フレイル予防としてとらえるシルバー就業のあり方を実践するために、人とのつながりを大切に、各地区の公共施設へボランティア活動を行い、地域社会への貢献を実践しました。

ボランティア活動は、日程が例年とは異なり参加者人数は減少となりましたが、各地区において地域社会に貢献することを目的として、草取りや草刈等の除草作業を実施しました。

また、自分の身体の不調を知り、対処法を学ぶことで痛みを和らげる対処法レッスン会を開催し、日ごろの生活に役立ててもらえるよう開催しました。併せて、簡単な体操や脳トレ等を通し、心身ともにリフレッシュできるよう女性部会が開催しました。

独自事業活動は、それぞれのリーダーが中心となり活動を行いました。いきいきクラブについては、落花生と大根が収穫までに至らず終了してしまいました。サツマイモは紅あずま紅はるか共に順調な収穫となり、会員だけでなく市民の皆さんにも購入していただくことができました。すみれサークルについては、年度当初はグループでの活動は休止となってしまいましたが、個人活動として各自が自宅で引き続き行い、布マスクの作成については多くのメディアでも取り上げられ、活動の様子を広く周知することができました。

【ボランティア活動報告】

	山武地区	蓮沼地区	成東地区	松尾地区
月 日	10月6日	10月13日	10月15日	10月17日
場 所	山武福祉作業所	蓮沼交流センター	成東運動公園	松尾中学校
内 容	植木草刈草取	草刈草取	草刈草取	草取
参加者	30人	14人	17人	21人

【健康教室「すみれの輪」】

月日：令和3年3月25日（木）

場所：松尾 IT 保健福祉センター 多目的室

内容：腰痛対処レッスン会 講師：陣内裕成先生

みんなでいちご体操

みんなで脳トレ

参加：18人

【地域班活動】

成東（3地区9班）、山武（1地区6班）、松尾蓮沼（2地区6班）

配布物6回お届け、ボランティア活動及び次年度更新説明会協力

【独自事業活動報告】

	すみれサークル	いきいきクラブ
就業実人員	15人	30人
就業人日	125人日	91人日
収入実績	524,425円	126,650円
活動内容	手差し、ちりめんフラワ ー、手提げ袋、布マス ク、タオルワンちゃん・ ニット帽子等作成と販売	サツマイモ、落花生、大根、 枝豆の栽培及び収穫と販 売

すみれサークル活動 取材状況

月刊シルバー人材センター 4月号掲載

すみれサークル 手作りマスク作成 取材状況

朝日新聞 4月5日(日)掲載

千葉日報 4月6日(月)掲載

毎日新聞 4月8日(水)掲載

ケーブルネット296 5月中 1日3回放送

(4) 利用者サービス

ホームページに、各種事業の案内や報告を行い、シルバー人材センターがどのような活動を行っているかを発信しました。

令和3年度の開始に向けた高齢者向けワンコインサービスの整備や、発注者の要望に応えるためにコンビニでの支払いを可能にするよう整備を進めました。

また、就業開拓員は既存の発注者を訪問し、新たな就業につなげる活動を積極的に進めました。特に、令和3年度に利用料金の改正を行ったことから、発注者に対し丁寧な説明を開拓員が行い、発注者の理解を得られるようにしました。

【就業開拓員活動報告】

就業開拓員	1名	就業日数	64日
-------	----	------	-----

(5) 連携強化

高齢者支援や子育て支援を含めた新規の事業を始めるに際しては、担当部署と協議を行い、事業がスムーズにスタートできるようすすめました。就業に際し、研修が必要な就業等については、発注者の協力のもと事前に研修を行い、会員の資質を高めるよう努めました。

新型コロナウイルス感染症対策として、多くの外部研修はオンラインでの開催となりましたが、担当者は積極的に参加し情報の収集等に努めました。

会長は、千葉県シルバー人材センター連合会(「千シ連」という)の理事に就任し、定期的な理事会に参加するとともに、普及啓発委員や就業開拓委員を担当し、千シ連との連携を深めることに務めました。また、全国シルバー人材センター事業協会(「全シ協」という)が主催する「全国新任会長研修」の事例発表者として、山武市シルバーの会長としての役割を、新

たに就任した会長の方々に発表しました。

事務局長は、全シ協のシルボンヌ全国大会 IN TOKYO2020 の実行委員として委員会に参加し、全シ協との連携を深めることに務めました。11月に東京日本橋で開催された大会では、すみれサークルの物品を展示するとともに、その様子はライブ配信されたため、女性部会のメンバーは大会の様子をパソコンで確認することができました。

【介護予防・日常生活支援総合事業】

受注実績 2件

【子育て支援事業】

市が実施する多胎妊産婦サポーター研修を受講した会員が、子育て支援を必要とする家庭に対し、家事援助サービスを行うことで、若い世代が安心して子育てが行えるようサポートする。

多胎妊産婦サポーター 受注実績 1件

ママ家事サポート 受注実績 1件

(6) 組織体制

組織内の情報共有を図るため、会長・副会長出席のもと職員会議を毎月開催し、必要な事項について報告・連絡・相談を行いました。

理事会を毎月開催し、監事は、理事会の執行状況を監査するとともに、会員の就業状況を毎月チェックしました。また、理事・監事は当番制で入会説明会にも参加し、入会希望者に対して事業の説明等を行い入会促進に努めました。

業務においては、システムの一部見直しを行い、事務処理の有効化を実施しました。

県内ではまだ少ない女性部会活動について、白井市シルバー人材センターの女性理事の視察訪問を受け、女性部会との情報交換等を実施しました。